
笑顔になる 塗装屋さんの 選び方

新築のような家に生まれかわる！
満足のいく塗装をするために
知っておきたいこと



目次

ご挨拶 外壁塗装は、さっぱり分らない・・・	六
なぜこの冊子をあなたにお届けしたいと思ったのか	六
ところが・・・	六
ちよつと面倒ですよね・・・ですが・・・	九
第一部 そもそも外壁塗装ってなんですか？	十二
塗り替えはなぜしないといけないのですか？	十二
外壁塗装が家を守る？	十二
ところが、塗料にも耐用年数がある	十三
「家の美観の保護」 もあります	十三
どれくらいになったら塗り替える？	十六
このような症状が現れたら塗装の目安になります	十七
① 外壁にヒビ(クラック)が入る	十九

- ② 色あせ(退色)が起きる……………二十
- ③ かび、コケが生える……………二十一
- ④ 外壁の塗料のめくれ、はがれが起きる……………二十二
- ⑤ チョーキング(塗料の粉化)が起きる……………二十四
- ⑥ 外壁がサイディングの場合、目地の部分(コーキング)が劣化し、裂けたり、ヒビが入ったりしている……………二十五

■ 第二部 安心の業者を見つける三つの秘訣

- 安心の三つの秘訣とは?……………二十八
- その一 自社の施工物件を見せてくれる……………二十九
- その二 安さを謳わない……………三十
- その三 決断を急かさない……………三十三
- 外壁塗装工事の流れや期間を教えてください……………三十五
- お申し込みから工事終了までの流れ……………三十五
- さらに当店では、アフターフォローも手掛けています……………四十
- 実際にアフターフォローさせていただいた様子……………四十三

■ 第三部 塗り替え前のよくあるお悩み

Q、どの季節に塗り替えがおすすめですか？..... 四十五

一月、二月..... 四十五

三月、四月、五月..... 四十六

六月、七月、八月..... 四十六

九月、十月..... 四十六

十一月、十二月..... 四十七

Q、工事期間中に、不便なことはありませんか？..... 四十八

○お洗濯ものは外には干せない..... 四十八

○窓が開けられない時がある..... 四十八

ここでひとつお得な情報を！..... 四十九

○エアコンは使える？..... 五十

○においはありますか？..... 五十一

Q、雨の日の工事はどうなりますか？..... 五十二

■ 終わりに... 外壁塗装にかける想い..... 五十五

■ご挨拶 外壁塗装は、さっぱり分らない・・・

この小冊子をお手に取っていただきまして、ありがとうございます。

初めまして！東京都府中市紅葉丘の「地域密着の塗装店『三商事』」の上神谷 裕治と言います。

ぼくの名前、難しいですよ？大概の方は読めませんから・・・でも、インパクトがあつてかえつて良いとは思っていますけれど・・・。

こう書いて（かみかべや ゆうじ）と読みます。「かみかみや」と読みそうですが、「べ」なんです・・・。難しいですよ？ちなみにひよんなご縁というか・・・珍しい名前同士は引き合うというか・・・で知り合ったのですが「かみかみや」さんも実在します・・・同じ字を書きます。

名前のお話でだいぶ来てしまいましたね・・・それはそれとして・・・

なぜこの冊子をあなたにお届けしたいと思ったのか

三商事は、昭和五十四年創業で、今まで八百件以上のお住まいの塗り替えを手掛けさせていただいております。

手掛けさせていただく、たくさんのお客さまとお話する中で、

「どこに頼んでいいかさっぱりわからなかった」

というお声をいただくことが本当に多かった…のです。

普通、何か商品を購入する場合って、いろいろな情報を得てから、購入に至ると思います。

何度も購入しているものもあるでしょうから、どんな情報が必要で、どんなことに注意が必要で…とかが、わかりやすいはずですよ。

ところが…

外壁塗装をはじめとする、塗装工事というものは、そうそう何度も購入するものではないですよ。

だからこそ、どんな情報が必要で、どんなことを注意したらいいのか、分かりづらい。そして、他の商品とは違い、手にとってみたりすることもできません。

さらに「オーダーメイドの商品」です。

お住まいの大きさはもちろん、下地の現在の具合、傷みの度合い、など様々な条件で、工事の仕方が違ってきます。

それと「それをつくる（工事をする）人間の置かれている状況」「考え方」などでも左右されてきます。

手間をかけて差し上げられるか、そうでないか……とか。

あなたが「選ぶ業者」によって、またお住まいの状態によって、そのお住まいに合った工事の仕方というものが変わってくるのが塗装工事です。

同じ材料を使い、同じ工程で、同じ人が作る、性能のまったく同じである商品、いわゆる一般の商品ですが、こういったものとは違う商品ですよね。

それと「買ったけどチョット失敗……じゃあ、また違うのを買えばいいか……」というような価格ではありません。塗装工事は高い買い物です。買換えればいいというものではありませんし、できません。だからこそ慎重になりますよね。

- 何度も購入経験を積めるものではないので、知らないことが多い。
 - 手にとってみたりすることができない。
 - その家にあった塗装工事をしないといけない。いわゆる「オーダーメイド」の商品。
 - 作り手（工事をする人間）によって、その品質が変わってしまう可能性が大きい。
 - 高額商品なので、失敗したからといって、買い直すことはできない。
- まとめると、このような感じてしまうのか。

これだけの要因があるものですので、購入するにはとても迷われると思います。
ですが、

「だからといって、しなければいいというわけでもなくて、むしろ、しないとお住まいは確実に傷んでしまう」のです。

躊躇ばかりもしていきられません。年数が経てば、新築のころのきれいさ、耐久性は落ちます。大事なお住まいは、お住まいになられている方自身で、守らなければいけないのですから。

だからこそ、私は「塗装工事に対しての情報提供は、これから購入される方にとっては、絶対に必要」だと強く思うのです。

そして、情報はできるだけ集めてから臨んだ方が、絶対に後悔しない塗装工事ができるはずです。

ちよつと面倒ですよね……ですが……

こんなことをいうと「面倒」に感じてしまわれる方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし、こういったことをおろそかにしてしまうと、ある「一点」でのことですが、塗装工事が見られなくなってしまうです。

それは「価格」です。

価格の高い、安いでしか判断ができなくなってしまいます。

価格の高低は購入する側にとって見れば、本当に本当に重要なこと。でも「安ければいい」というのも、この塗装工事についていえば、危険な部分もあります。

先ほど「オーダーメイドの商品」と書きましたが、**塗装工事**というのは「**工事をする人間の手間**」が**価格に大きく反映されてきます**。

手間をかけるというのは「こまかい仕事を、時間を掛けてやる」ということも含まれますが、それだけではなく、「当たり前前に必要とする工程」も含まれています。

塗装工事はそのほとんどが「手作業」「手間の仕事」なわけですから。

最低限に必要な手間さえ（つまり基準の工程さえ）掛けたくても、かけられない・・・そんな状況の中、仕事をしている塗装業者はたくさんいます。そういった業者は「安くあがるように」と工事をします。そうでないと自分の利益が出ませんからね。

だから、逆にいえば「安くやろうと思ったら、安くできてしまう」のです。

手作業ですから、いわば、その場で商品を作っているわけですから、そのさじ加減でどうにでもなります。とにかく仕事を納めることを最優先に・・・

そのあとはどうなっても知らない・・・という態度で工事をしていけば、安くあげることができ
ますし、自分の利益もそれだけ出ます。

このように、非常に判断の難しい塗装工事です。ですが、お住まいを維持していく、きれいに住み続けるのには、塗装工事は一番の特効薬です。

情報をすこしずつでも得ながら、工事を考えていけば、外壁塗装は、「怖いもの」でも、「ややこしいもの」でもなくなるのです。

塗装は必ず「そのお住まいの為に役に立つもの」なのです。

だからこそ、情報提供をして、不安や不満、を少しでも取り除いた上で、いろいろとご判断をしてもらいたいです。

安心して塗装工事をしてもらいたい。

後悔はしてほしくないんです。

そして終わった後は、やってよかった…！

笑顔でそういつていただきたい、そんな想いから、この冊子を作りました。この冊子で、あなたの塗り替えの不安が少しでも解消しましたら、とても嬉しいです。

■第一部 そもそも外壁塗装ってなんですか？

塗り替えはなぜしないといけないのですか？

外壁塗装というと、家の美観を保つためにするのではないか？と思われるがちです。確かにその一面もありますが、外壁塗装をする最も大きな理由としては「家を保護するため」というところにあります。

外壁塗装が家を守る？

例えば、枯れて倒れている木をイメージすると分かりやすいかと思います。その木は、雨風にさらされていくと、だんだん水がしみ込んでいって、腐っていきますよね。大きな穴が開いたり、アリの巣になったりとかです。

こういうことが、家の外壁にも起こります。

いまは木を使っている家はあまりありませんが、どのような部材の壁であっても、そのままですと、太陽光線、雨風などで痛んでいきます。

そこで、外壁を守るのが、塗装の役目です。ワックスを床に塗ったりすることもあると思いますが、そのようなイメージで、塗装を施すことで、壁を水の浸水や傷みから守っています。

ところが、塗料にも耐用年数がある

家を建てた際には、この塗装は必ず行われているのですが、「持ち」は永久ではないです。塗装した塗料は「自分の身を削りながら」その任務を遂行していきます。

です。時間が経てばやがて、塗料もその役目を終えてしまうときは来るわけです。そうすると、今度は壁の部材そのものの劣化が始まってしまいます。ですので、部材そのものの劣化が始まる前に、さらに塗装を施してあげて新たな命を吹きこんであげる。

そうすれば「お家の生命」がさらに延びていくのです。

こんなふうにおうちを守るのが、塗装の役目のひとつです。

「家の美観の保護」 もあります

こちらの理由は、イメージしやすい方ですね。塗装というのは「傷みを防ぐ」作用のほかに「汚れにくくしてくれる」作用ももっています。しかし先ほどと同じく、時とともに、その作用も減退していきます。



塗り替え前



塗り替え後

塗り替え前



塗り替え後



どのようなものでも「きれいになる」ということは気持ちのいいものであると思います。ましてご苦労されて手に入れたお家です。なおのこときれいになれば、喜びもひとしおだと思えます。

「きれいになって、ホツとした」

「遠くからきれいになっている我が家を見てみると、とても気持ちいい」

「せっかくきれいになったのだから……と傷をつけないように注意している自分があります……。まるで『新車』を扱っているようです……」

多くのお客様に出会い、そんなお声を聞いていますと、あらためてその方のお家に対する想いが伺えます。

そして、そんなお声が私の原動力になっているんだなあ……と改めて感じるのは、お家にとって、あるいはそこにお住まいになられている方々にとって「お家の塗装」というものは、なくてはならないものだということを思い、日々仕事をしています。

どれくらいになったら塗り替える？

それでは、どれくらいになったら塗り替えが必要になるのでしょうか？
というお話をお伝えしていきます。

外壁の塗装の時期は、現在壁に塗られている塗料にもよりますが、初めての塗り替えを迎える方でしたら、

築十年から十五年くらいたったら塗装の時期ということになります。

新築の際に外壁に塗られている塗料の効果の持続がこの年数位のグレード(樹脂)の塗料が多いからです。

もつと効果の持続が短い塗料を外壁に塗装されている場合もあります。

ですから、一概には言えませんが、おおむね、この年数で見ただければ：と思います。

このような症状が現れたら塗装の目安になります

十年経過とともに、あるいはその前から、外壁には様々な症状が現れます。その症状が見られたら外壁塗装を行う目安となります。

どのような症状かというと：

- ① 外壁にヒビ(クラック)が入る
- ② 色あせ(退色)が起きる
- ③ かび、コケが生える

- ④ 外壁の塗料のめくれ、はがれが起きる
- ⑤ チョーキング(塗料の粉化)が起きる
- ⑥ 外壁がサイディングの場合、目地の部分が劣化し、裂けたり、ヒビが入ったりしている

このような現象が塗り替えの目安のサインです。
ひとつひとつ詳しくお伝えしていきます。

① 外壁にヒビ(クラック)が入る



ヒビの原因は「モルタルの痩せ」か「地震などの外的要因」です。一概にそのヒビをみて何が原因かを特定するのは難しいですが、そこにヒビがあるかぎり、水がまわってしまうことには
かわりありません。

早急に処置をしないとそこから水がまわり・・・放置しておけば手遅れになります。

②色あせ(退色)が起きる



外壁の塗料が劣化してくるに従って、発生してくる症状です。
大抵、日当たりの良い場所で起こることが多いです。

③かび、コケが生える



風通しの良くない面(北側)、乾きづらい面、場所などに生えます。付着した汚れが落ち切らずに外壁に残り、そこから発生します。

本来、外壁塗装は外壁を防水するために施してあるものですが、この状態ですと、逆に湿気を取り込んでしまい乾きません。そして、さらにカビやこけが広がっていきます。そのうちに外壁塗料が、その湿気のために外壁から分離、つまり、はがれてしまうという事態になります。

④外壁の塗料のめくれ、はがれが起きる



考えられる要因としては、カビやコケなどの湿気・・・とかく塗料は湿気に弱いんです・・・や、前回の塗装時の下処理の悪さです。

この外壁は前回の塗装時の下処理が悪く、上の写真のようにつまんでのがせてしまいました。

安かろう悪かろうの業者に依頼してした場合、塗装の「持ち」が短くなってしまいますので、耐用年数が来る前に不具合が起こることもしばしばです。

このような状態になると、工事費が高くなることもあります。

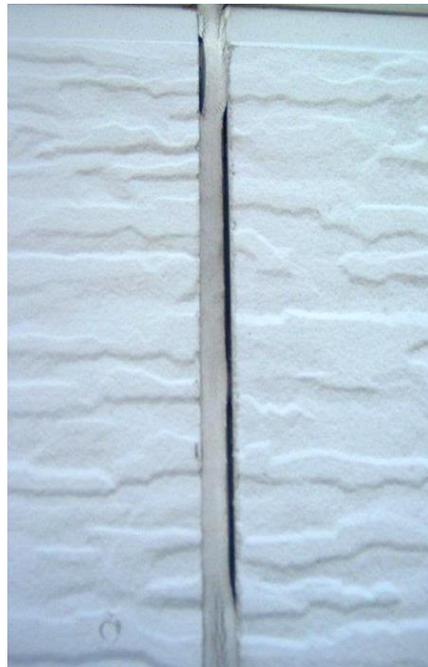
⑤チヨーキング(塗料の粉化)が起きる



塗料の色に必要な「顔料」。その顔料が塗料の樹脂とともに経年劣化により表面に浮き出てくる物です。

このように手でカベをなでたり、指でこすってみるとこのように手についてきます。これも外壁を守る塗料の防水効果がなくなったという目安になります。

⑥外壁がサイディングの場合、目地の部分(コーキング)が劣化し、裂けたり、ヒビが入ったりしている



サイディング壁にはサイディング同士をつなぐのに、右の写真のように溝があり、ここにシーリング(コーキング)と呼ばれる、溝を埋めるやわらかい継ぎ目が入っています。

サイディングはモルタルの外壁と違い、板そのものにヒビが入ることはあまりありません。

それはサイディング板にこのやわらかい継ぎ目(目地)があるので、ここが微細な外壁への動きを吸収してくれるからです。

ところがこのシーリングは、塗装などはしておらず「むき出し」のままです。保護されていない事が多いので、暑夏の暑さや冬の寒さ・・・太陽や雨風などをまろにうけますので、やわらかかったシーリングは次第に固くなり、やがて傷んできます。

そこへきて、サイディング板そのものも夏の暑さや冬の寒さなどから伸縮します。やわらかいままなら、そのサイディング板の伸縮にシーリングもついて行ってくれますが、固くなってしまふので、サイディングの伸縮について行けず、裂けてしまいます。

この裂けてしまった溝から、雨が侵入してしまうのです。サイディングのシーリング部分の劣化は外壁塗装の重要な目安になります。

なお、このシーリングを新しく充填する(打ち直しと言います)ことだけをされる方も、まれに拝見します。ですが、充填と外壁塗装を別々にやりますと、足場からしてその都度のことになりますから「二回分」かかります。

ですから、コストの事を考えると一緒にされた方がいいというわけです。

このように「外壁塗装の目安」ということでご紹介してきました。

築十年以上、もしくは前回塗り替えてから十年から十五年経過しているのなら、お住まいを一度、チェックしてみてください。

■ 第二部 安心の業者を見つける三つの秘訣

外壁塗装をするときに一番悩まれるのが「業者の選び方」ではないでしょうか？やはり、しっかり施工してくれる業者をお願いできたほうがいいですね。

そこで、プロの視点から、業者を探す時この点だけ気をつければ、安心して外壁塗装が出来るという秘訣をお伝えします。

安心の三つの秘訣とは？

- その一 自社の施工物件を見せてくれる
- その二 安さを謳わない
- その三 決断を急かさない

順を追ってご説明したいと思います。

その一 自社の施工物件を見せてくれる

お見積もりをとって、説明も受けた…でも、まだひとつ決める勇気が出ない…。そんな方も多いと思います。

そういうときは「実際に外壁塗装をしたお宅を見せて欲しい」と頼んでみましょう。
もしくは

「今、手がけている現場をみせてほしい」でもいいでしょう。

できればあなたのお宅の近くで、そういうお家があればベストですよね。外壁塗装をしたお宅を見せられるということは、やはりその業者がお客様に対して喜んでいただいたという「自信」があるからです。

そして**見せてあげてもいいというお客様からの信頼の証拠でもあります**。だから当然、仕上がりにも自信があります。

そして、そういうお宅があなたのお家の近くにたくさんあれば、「こんなにウチの近くで外壁塗装、手がけているんだ…」という安心感につながるはずですよ。

今、手がけている外壁塗装の現場を見てみるということは、「あなたの家だけで考えている外壁塗装という難問」をクリアーして実際に始めているお宅がある・・・ということを意識できます。

「自分だけじゃない・・・今の自分みたいに悩んで、その上で結論をだして、こうやってこの業者さんに頼んでいるんだ・・・」

ということがわかると気持ちも軽くなるはずですよ。

そして、実際の塗り替え工事の状況をリアルでみられるわけですから、「こういうふうに進んでいくんだ・・・」ということもわかり、安心感が生まれます。

「これは何をしているところですか？」など、どんな質問して行ってかまわないと思います。それに対して迅速に、丁寧に、わかりやすく説明していただけるということは、その営業マンも現場に精通しているということもわかってさらに安心のはずです。

その二 安さを謳わない

外壁塗装など、お住まいの塗り替えは「手間の仕事」です。

電化製品のように「どこに行っても同じ品質のものが買える」という買い物の仕方とはかなり違う「お買い物」です。

外壁塗装は手間の仕事ですから**基本的に「安かろうは悪かろう」**です。

安く出来るということはどこかで手間を差し引いているということです。それが後々のお住まいの塗装に影響してくる可能性も考えられます。

例えば外壁に塗る下塗りを省けば、時間短縮になりますが後々の密着が悪くなり、はがれてしまう・・・という**問題**があります。

また、塗っているとしても、水性の材料に適量以上の水を入れれば、その分材料の使用量を少なくすることが出来てしまいます。さらにそうやって作った材料は水分が多いのでとても塗りやすいので、早く終わらせることもできてしまいます。

それによって、人件費、材料費を浮かせて工事費を安くするという方法です。ですが、適量以上の水分を入れていますので、塗料の本来の効果を発揮できない事でしょう。

本当はもっと粘度のある塗料をしっかりと塗らなければいけないのに。

粘度のある塗料をしっかりと塗るのには時間がかかります。

「安くする」ということはこういうことなのです。

また「足場がウチは無料なんです」という業者さんもいます。ですが、足場が無料というのはありません。足場を組み立てるにも、人件費がかかります。

それが丸々なくなるといことは、足場業者に利益がないことになります。

自社で組むにしても、やはり人手がかかるのは同じですので、サービスで無料というのは「表現上だけのこと」です。足場費用として見積もりに記載されてないだけで、どこか別の項目に振り分けられていると考えたほうがいいでしょう。

「安く見える工夫」をしているだけなのです。

そして、こうして「さまざまな工夫をして安く」して仕事をお受けして、それを下請けの業者が施工する場合は、さらに「安く仕事をする」ということになります。

元請けの業者も自分の会社の利益を得ないといけないからです。安く請け負った仕事をさらに安く仕事をしなければならぬので、あまり安く安く…という業者でも「お得だ！」と飛びつくのは待ってください。

その三 決断を急かさない

当店のような「地元でやっている塗装店」は別ですが、大方の外壁塗装の営業マンには「ノルマ」があります。目標金額があつて、締め切りがあつて：：だから、焦るのです。

なんとしてでもご契約をとらないと：：という気持ちがありますので、

「今、ご契約していただければ○○○円値引きします！」

「キャンペーン期間が今日までなんです！」

などと言ってくる場合があります。

中にはこの値引きの金額が百万円単位の事例も知っています。

こうなると最初の見積もりの金額はなんだったの？と言いたくなりますよね。

そして極めつけは「ご契約していただくまで帰りません！」のセリフです。当店の見積もりも取っていただいていた方が、こういう風に言われて契約せざるを得なかったとのことでした。

ぼくも当店 三商事の営業マンです。

営業マンをしていて感じるのは「急かしてご契約いただいてはいけない」ということです。

一度こんな事がありました。

ある外壁塗装の業者でご契約をされた方が、そこをクリーニングオフして当店とご契約をしてくださいました。理由を聞くと急かされてのご契約だったそうです。

営業マンが急かす理由は主に二つあります。

一つは自分のノルマのためであり、もう一つはこの後の仕事が無くなるからという理由です。

いずれにしろ、お客様には関係のないことです。

ぼくもご決断をお願いするときはあります。ですが、その場で今すぐに……とはいいません。ある程度のお時間はお待ちします。

あまり今すぐにというのは好きではありません。自分がされたら嫌だからです。昔は、ぼくは違う営業の仕事をしていました。そのときの経験がそうさせています。

急いでご契約をしていただくと、後で問題になったり、言った言わないがあったり、最悪キャンセルをされてしまったり……ということが少なくありません。

ですからきちんとご説明をして納得をしていただいた上でご契約としていきます。

このような理由から、安心して外壁塗装に臨むには「決断を急かすような業者は?？」とご自分に待った!を掛けた方がよろしいと思います。

外壁塗装工事の流れや期間を教えてください

この業者がいいな、と思うところが見つかった：：そうなるから、どのような順番や期間で工事が行われていくのか、気になりますよね。

ここからはそんなお悩みにお答えしていきます。

お申し込みから工事終了までの流れ

以下は当店での流れとなりますので業者によって多少前後したりなどはあるかと思いますが、イメージとしてお役に立ちましたら嬉しいです。

一 現場調査

実地での測量や、傷みの状態をみたり、写真に収めたりしながら現場調査（現調）をさせていただきます。このときにお客様の気になることや心配なことをヒアリングいたします。所用時間は一時間ほどになります。

二 お見積もり作成

一 の現場調査に基づきお見積もりを作成します。外壁や屋根、付帯部の材質や状態などをみながら適応した塗料、施工方法を選択していくことでお値段が決まってきます。

完成まで一週間ほどお時間をいただきます。他の業者との「相見積もりの都合で」お急ぎの場合は、その旨を教えてください。

三 工事内容のご説明

お見積もりをお渡ししながら内容のご説明を致します。ご予算との照らし合わせをしやすいように、外壁に塗装する塗料の違いで三パターンほどお持ちします。

お客様からの質疑応答をお伺いして、ご納得いただければご契約書の記入となります。(ご用意いただく物は三文判でかまいませんので、ご印鑑をお願いします。)

このときに工事開始がいつ頃になるか・・・はおおまかにお伝え致します。

また、塗り替えの色を何色にするのかなどを決めるため、お打ち合わせを行います。

四 足場の現場調査

塗装工事開始までの間に、時期をみて足場業者の現調がございます。

五 工事日程のお知らせ、近隣の方へのご挨拶

足場組みの日（工事開始日）が決まりましたら、お知らせをいたします。また、事前に御近隣へのごあいさつを致します。もし、ご挨拶に同行をご希望していただければ幸いです。お申し出ください。

六 塗装工事① 足場を組む&飛散防止シート設置と高圧洗浄

まずは足場を組み立てに参ります。足場組みの次の日、もしくはその後に高圧洗浄を開始します。

高圧洗浄時には、水が飛び散ったりするのではないかと不安もあるかと思うのですが、飛散防止シートを設置させていただいたり、お隣の家が接近している場合は、ブルーシートで二重張りにしたりなども行います。

また、当店では高圧洗浄前日までに、御近隣への周知も徹底をしていきます。

七 塗装工事② 養生作業

洗浄終了後、養生作業に入っていきます。ペンキが、塗る必要のない部分につかないようビニールシート等で覆っていきます。ここからおよそ十日〜二週間の工事となります。尚、工事の間はお住いの規模や、塗装箇所の高さ、状態の善し悪しで変わってきます。

作業に従事する職人は一人から三人です。ここも規模によって変わっていきます。

八 塗装工事③ 壁の塗り替え

外壁塗装は通常「三回」塗装をします。下塗り（一回目）中塗り（二回目）そして上塗り（三回目）で仕上げとなります。また、壁の種類やどれくらい劣化しているのか？によってもこの塗り替えの細かい工程は変わってきます。

九 養生の取り外し、足場の解体工事作業

塗装終了後、すみやかに足場の解体をして工事は終了します。

十 工事終了のご挨拶に伺ったのち、請求書を発行します。

以上で終わりとなります。

さらに当店では、アフターフォローも手掛けています

ここからは当店ならではの、アフターフォローも行っております。

塗装工事は、職人の技術と経験をこめてお客様にご提供するもの…になりますが、百%不具合がないとは言いきれませんが、

ですが、当店では、もし発生したとしてもそのときはぜひ、言ってください！とお客様に申し上げております。

その時にはお客様のお宅に行ってまずはその症状を確認します。

「上神谷さん、ちよつと見ていただけますか？」という形で言われて行くときもありませんが、営業でまわっているときに、お客様の家を見て、あるいはお声をかけてお聞きしたりします。

細かいことですとお客様は言い出しにくい……ということもありますよね。わざわざ来ていただくのは……と遠慮される方もいます。ですからお伺いしてこちらから「大丈夫ですか？」と聞いたりもするのです。

それとアフターフォローに一役買っているのが「ニューステア―おまかせください」という「塗り替えについての情報誌」です。

これをいままで当店で施工したお客様へもお送りしています。

これをお送りすることによってお客様は「いつも見ていてくれるようで、嬉しいです」といつてくださる方も多いのです。

何百人という塗り替えがお済みになったお客様……その方にお一人お一人お伺いすることにも限界があります。

ですからニュースレターをお送りし「どうぞ、お気軽にお声をかけてください」というメッセージを送っています。

何かあったら小さな？」に対してでも良いから呼んでいただきたいのです。

これをお送りしていることで、お客様たちも遠慮が少し軽くなるからか「見に来ていただきませんか？」ということを書いてきてくださる方もいます。

私は町で、笑顔でお客様にお会いしたい・・・だからこそ、アフターフォローも全力でやりたいのです。

もちろん、これは以前からもしていたことでしたが、以前は「私も含めた全員が現場に出てしまっていて」全員を忙しくさせてしまったため、必ずしも、そのようなお声に「すみやかに応えることができない」こともございました。正直に申しますと「忙しいからすぐにはごめんなさい・・・」という感じてました・・・

ですが、これではお客様の不安は時間と共にどんどん増していくばかりです。

まずは何を置いても「一度伺いする」ことが大切と思っています。

症状の処置などはその後でも間に合うのです。一度症状を見させていただいて、それから対処の方法を考えてお客様にお伝えする…。

そういったことを踏まえて、現体制では「現場の管理専門である」代表の私が窓口になり、**ご連絡をいただければさらにスピーディーにうかがえるような体制を敷いています。**

そういったフォローに対し、知識も理解もある職人たちに囲まれていますので、すぐにしかるべき対応ができます。

実際にアフターフォローさせていただいた様子

左記は、他の業者が手がけて三年経過した時点でこのような状態になってしまった…というところでご連絡を頂き、補修をさせていただきました。塗り直した色と周りの色は少し違います。これは全く同じ色にはできないことはご了承いただいております。

補修前(剥がれていた塗膜を除去後)



補修後



その他にも

- 。 お客様から屋根が台風ではがれて・・・という件で屋根屋さんをご紹介いたしました
- 。 塗装では直らない部分を、つながりの防水業者へお願いして修理いたしました

もちろん、お受けできることとできないことはございますが、当店のお客様はもちろん、当店以外で施工された方でもご相談に乗ってまいりたいと思っております。

■ 第三部 塗り替え前のよくあるお悩み

この章では、お客様から良く頂くお悩みについてお答えしていきます。

Q、どの季節に塗り替えがおすすめですか？

塗装が長持ちする季節はあるのでしょうか？ということで、「季節」として外壁塗装に適した時期というのを考えてみますと、これが一長一短あります。

一月、二月

寒い時期ですので、窓を閉め切りにされても、さほど気にもならないということがありません。

それとお天気が続く時期ということもあります。とある年の当店の場合、一〜二月で雨による工事中止は三日 だけでした。

雪が降れば話は別ですが、それがなければかなりお天気は続く時期でなかつ、空気が乾燥している時期でもありますので、外壁塗装の作業もはかどるというものです。

三月、四月、五月

暖かくなってくるころですので、人気がある時期です。三月のお彼岸くらいから四月の初旬くらいは、連続した雨に当たる年もありますが、それを除けば、陽気もいいのでとても良い時期です。

六月の雨の季節を前に外壁塗装を済ませたい・という方はこの時期を選ばれる場合が多いですね。

六月、七月、八月

梅雨という時期ではありませんが、空梅雨という年もあります。

それと暑い時期にさしかかりますが、お天気が定まれば気温の高さゆえ、一年のうちで塗料の乾きが一番早い時期です。早く乾けばそれだけ次の工程に早く進めるというもの。それと日が長いということも手伝い、作業が進めやすい時期でもあります。

九月、十月

涼しくなり始め、気候が爽やかになりお住まいの方も、また工事をする側も気持ちのいい時期です。短所を強いて上げるなら台風がくるということですが。

十一月、十二月

お天気の落ち着いた時期になります。二ヶ月で、雨により作業が中止になったのは三日だけなど、スムーズに行きやすいです。

お天気が安定している上に、年末を控えて、新しいお家で新しい年を迎えたい…!という方にはぴったりの時期です。だからこそ人気がありますね。

デメリットは強いて上げるなら「日が短い」。作業量は少し削られる…!というところでしょうか？

このように外壁塗装の時期というのは、いつを選択されてもメリット、デメリットはありますね。

でも逆に言えば、いつでも大丈夫!と言っても良いくらいだと思います。

Q、工事期間中に、不便なことはありますか？

○お洗濯ものは外には干せない

これは本当に申し訳ありませんが、外壁塗装の期間はずっと・・・とっていいほど外には干せません。

強いていうなら、足場が組まれてから洗浄の作業に入るまでの期間、スケジュールの都合で少し空白ができることがあります。そのときに干していただくことができます。それとその逆の場合も干せます。

ただ、足場を組む当日、解体する当日は干さない方が良いです。設置、解体作業中却って汚されてしまう場合もありますので。

○窓が開けられない時がある

洗浄のときはもちろんですし、そのあとのテープやビニールなどで窓などを包む養生の工程に入ると、窓をあけることができません。

これは窓に塗料が付くことを防ぐためのものです。

ただ外壁の塗装が終われば、言い換えると付帯部分の細かいところを塗るときになれば、養生をはずせる部分は多くなってきますので、窓も徐々に開けていただけられるようになります。

ここでひとつお得な情報を！

それでもリビングのお庭にでる大きな窓(吐き出し)など「ここは開けておいて欲しい」という窓がありましたら、相談されるといいですよ。ビニールを貼りっぱなしにせず、塗るときだけビニールで覆って、その日の作業が終われば、またはずしてください。

そして同じ作業が次の日にあっても、同じようにしてくれる業者もあります。すべての窓・・・という対応にはなりません(作業効率のためです)のでご了承くださいね)、一、二箇所くらいでしたらそのようにしてくれる業者も多いです。

ちなみにこういった細かな対応ができる、できないは、実際に施工する業者が受けた金額によります。

受けた金額の中で、受けた業者も利益追求します。追求の中でここまではやっていただけない・・・ごめんなさい・・・という対応になることもあるので、ご理解ください。

ただ、色々業者を見てきて言えるのは「やっぱり、お客様に丁寧にしておあげたい」と思っている業者は多いということです。

いずれにしても「ここは一ヶ所でも開けておいていただけると嬉しい」というところがあれば、ご相談された方がいいです。もし、当店でしたらご相談してくださいね。大丈夫です！

○エアコンは使える？

エアコンはお使いいただけます！

エアコンの室外機が家の周りにある場合がほとんどですが、多くの場合、この室外機は、塗装しません。

ですので、外壁塗装をする場合は、これらをビニールで覆います。

しかし、室外機すべてをスッポリと覆ってしてしまうと、エアコンは使えなくなってしまいます。

ですので、排気や吸気口などまでふさいでしまうのではなく、最低限使用できる状態で覆いますので、どうかご安心ください。

○においてはありますか？

においては、結論からお伝えしますと、基本的には「ほとんど」臭わないです。

塗料は大きく分けると「水性」のものと「溶剤」のものがあります。

「水性」のものはその名のとおり「水で希釈」をしたもので、水性の塗料の場合は、ほぼ塗料の臭いはいしません。（臭いに敏感な方は少しにおうかもしれませんが・・・）

一方で「溶剤」のものは「シンナーで希釈」をする塗料です。少量ならいいのですが、外壁塗装や屋根塗装に使用される塗料は「使う量」が多い塗料ですので、そこで使うとシンナーで希釈をした塗料は確かに臭います。

現在のお住まいですと、多くの場合、溶剤を使うときというのは、付帯部分（外壁、屋根以外の鉄部、木部など）を塗ることが多い塗料です。使用量としては少ないですのでそういった所からも臭いはほぼ残りません。

塗っている最中は臭うときもありますが、何日も何日もそれが残る・・・というわけではなく、すぐに無くなってしまいます。ですからご心配は要りません。

ただし、「木」や「金属」の外壁の場合は、溶剤がメインの場合が多いです。木ですから水分はいけません。密着が不十分ということになります。

昔から木には油を染み込ませたりしながら、防水してきたように、木には「どちらか」と油に近い「溶剤系の塗料がお勧めです。

金属の外壁などにも水性の外壁塗料は密着がよくありませんから、溶剤を使わざるをえないときもあります。

ですが基本的には水性が使われることが最近は多いですし、塗料を選ぶ際にも相談できます。

Q、雨の日の工事はどうなりますか？

外壁に使用する塗料は、今は「水性塗料」が主流です。ですので、塗っているそばから「大量に」降られてしまいますと、「流されて」しまいます。

もし、流されてしまうと大変です。外壁は当然、塗りなおしになります。

それに加え「流されていった塗料」の掃除も大変です。

そして、そのあとすぐに晴れても、もう壁面はビショビショ。**ですから、その日の作業は中止になってしまふことが多いです。**

そういうわけで、「怪しい天気」のときには、空を見ながら、様子を見ながら外壁塗装をします。できるだけ「後で厄介なことにならないように気をつけて」塗装をしているというわけです。

以上がよくあるお悩みでした。

そのほかにも、当店のサイトで、塗り替え時のお悩みについて日々発信したり、特集ページを作ったりしております。

<https://sanshouzi.net/>

「三商事 塗装」で検索していただいても出てきます。

ホームページのQRコード(スマートフォンの写真機能で写すと、読み込めます)



お役に立てましたら嬉しいです。

■ 終わりに： 外壁塗装にかける思い

「本当にどうしたらいいかわからなかったです…。営業の業者はどんどんくるし、みんな言うことが違うし、相場感も何にもわからなくて…。」

あるお客様がおっしゃっていた言葉です。

本当に難しいのです…。外壁塗装って。難しいからこそ一番わかりやすい「お値段」が選定の基準になってしまうことも多いです。

でも、お値段で選んで失敗してしまう方もいる…。そんなことを聞くと余計にわからなくなってしまうでしょう。

当店はある足場業者さんと提携をしています。とても穏やかに丁寧に、そして素早く足場を組んでくれる方なのですが、その方が、別の業者のことで「塗装が終了して足場を解体に行く」とたまたま「お客様がとても不機嫌で…。困ってしまうときがあるんです…。」という話をしてくれたときがありました。

確かに足場専門業者は塗り替え自体には関与しないところですから、さぞかし気まずい雰囲気の中、足場を解体するのだろう…と思います…。そのお客様に何があったのか？は知るよしもないのですが…。

それを聞いたときに改めて「一件の塗り替え工事に関わる全ての人が気持ちよく終われる」ということは本当にいいものなんだな…と思いました。

私は「終わったお客様とは街でお会いしたときに笑顔でいたい」と思っています。

ですから、「お客様を中心としたそのまわりに関わる全ての人たちが幸せに終われるように」そんなことを目指して、日々お客様と向き合い、職人たちと向き合い…仕事をしています。

「とにかく『安全に』『みんなが気持ちよく』『やってよかった！』という形で塗り替えを終らせてほしい！」

その気持ちでお住まいの塗り替えに取り組んでいます。

最後までこの冊子を読んでいただきありがとうございました。

「住まいには必ず必要なこととわかっているのだけれど、なんだかよくわからないからぜんぜん話が進まない」

「どこに頼んだら良いのかわからない…どうしたらいいの?」とお悩みのあなたに読んでいただきたくてこの小冊子を書きました。いかがでしたでしょうか?

意外と知られていませんが、業者選び自体が暗礁に乗り上げてしまつて、塗り替えを断念してしまわれる方も多いのです。

せっかく苦勞して手に入れられたお住まいです。それでみすみす傷んでしまつてはもったいないのです。

ですから「どういう風にお住いの塗り替えをすすめていけばいいのか?」「どのように業者を選べばいいのか?」という情報をギュツと詰め込みました。

手に取つて読んで頂いただけでもうれしいのですが、さらにこの冊子が少しでも「あなたのお住まいの塗り替え」のお役に立てばなおのこと、嬉しいです。

ぜひお住まいの塗り替えを成功させていたただきたいと心から思います。

私がお客様からいただく言葉で一番嬉しい言葉は「やってよかった!」です。この冊子を読んでいたあなたに言っていただきたい言葉です。

ここまでお読みいただきまして、本当にありがとうございました。

三商事代表 上神谷裕治(かみかべや ゆうじ)

○メールお問い合わせ <https://sanshouzi.net/toiawase/>

年中受け付けております。

お見積りのご希望やお悩みなど、当店でよろしければ、お気軽にお問い合わせください。

○電話番号 042(365)1402

受付時間 午前八時～午後七時 平日、土日祝日も一緒です。

○ホームページ <https://sanshouzi.net/>

「三商事 塗装」で検索していただいてもご覧いただけます。

ホームページのQRコード(スマートフォンの写真機能で写すと、読み込めます)

